

岡山県感染症週報

2012 年 第 12 週 (3 月 19 日～3 月 25 日)

岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

◆2012 年 第 12 週 (3/19～3/25) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 10 週 2 類感染症 結核 3 名 (50 代 女 1 名、60 代 女 1 名、80 代 男 1 名)

第 11 週 2 類感染症 結核 3 名 (20 代 男 1 名、40 代 女 1 名、70 代 男 1 名)

第 12 週 2 類感染症 結核 1 名 (60 代 男)

■定点把握感染症の発生状況

○インフルエンザは、県全体で 814 名 (定点あたり 9.69 人) の報告があり、第 5 週から減少傾向がつづいています。

○感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数でした。

1. **インフルエンザ**は、県全体で 814 名 (定点あたり 9.69 人) の報告があり、前週 (定点あたり 11.43 人) より減少しました。患者数は 2 月から減少がつづいていますが、倉敷市・備前地域・美作地域では依然として定点あたり 10.00 人を上まわっており、流行の継続が考えられます。県内ではひきつづき『[インフルエンザ警報](#)』を発令し、注意喚起を図っています。県内の発生状況・臨時休業情報などは『[インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。

全国の第 11 週 (3/12～3/18) 定点あたり報告数は 16.65 人 (前週 21.06 人) であり、44 都道府県で前週の報告より減少がみられました。

2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした (定点あたり 8.11 → 7.91 人)。詳しくは『[感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		★

【記号の説明】

前週からの推移： 2 倍以上の減少 1.1～2 倍未満の減少 1.1 未満の増減
 1.1～2 倍未満の増加 2 倍以上の増加

流行状況：空白 発生なし ★僅か ★★★少し ★★★★★やや多い ★★★★★多い ★★★★★非常に多い

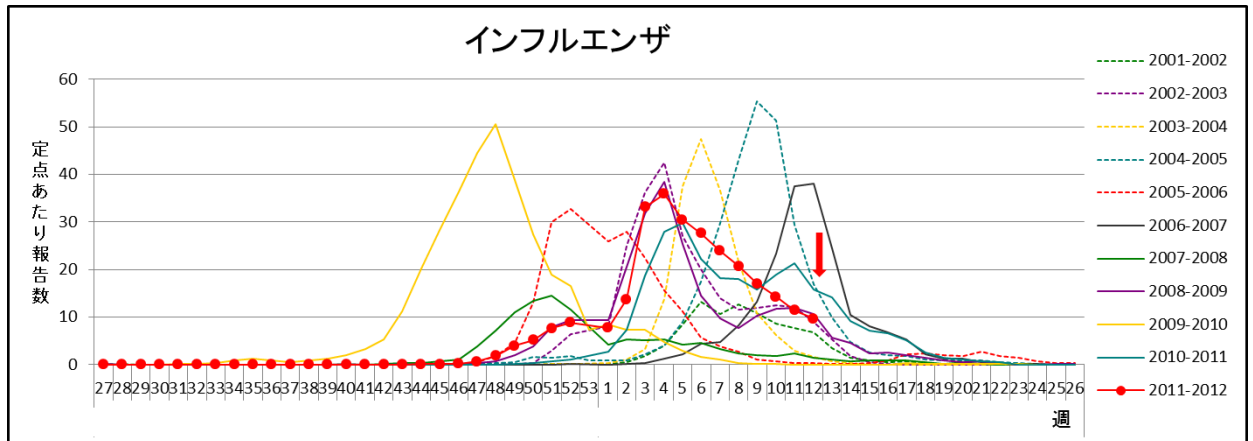
※定点当り患者数について、過去 5 年間の標準偏差値を 5 等分し、流行状況の目安として 5 段階で表示しています。

インフルエンザ情報 第 12 週 2012 年 3 月 19 日 ～ 3 月 25 日

岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 814 名（ 定点あたり 9.69 人 ）となり、第 4 週をピークに減少傾向にありますが、まだ患者が多い状態がつづいています。
- 県全体では感染症発生レベル 1 になりましたが、流行が継続している地域もあります。
- インフルエンザとみられる学校の臨時休業が、県内全域の 7 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者が、1 名ありました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザ患者数は 814 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 9.69 人 ）となり、前週（ 960 名 定点あたり 11.43 人 ）より減少しました。地域別では、備前地域（ 13.93 人）、倉敷市（ 11.75 人）、美作地域（ 10.80 人）、岡山市（ 8.86 人）、真庭地域（ 7.00 人）、備中地域（ 6.08 人）、備北地域（ 3.33 人）の報告があり、備北地域や真庭地域では患者が再び増加しました。県全体の感染症発生レベルは定点あたり 10.00 人を下まわったためレベル 1 になりましたが、倉敷市・備前地域はレベル 3、美作地域はレベル 2 が継続しています。患者は減少してきているものの、流行が継続している地域や、患者が再び増加している地域があることから、ひきつづき『インフルエンザ警報』を発令し、注意喚起を図っています。

県内では A 型、B 型両方のインフルエンザウイルスが検出されており、例年、B 型は 4 月上旬頃まで流行がみられます。春休みに入り、学校での感染の機会は減りますが、ひきつづき『手洗い・うがいを徹底する。』『咳エチケットを心がける。』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

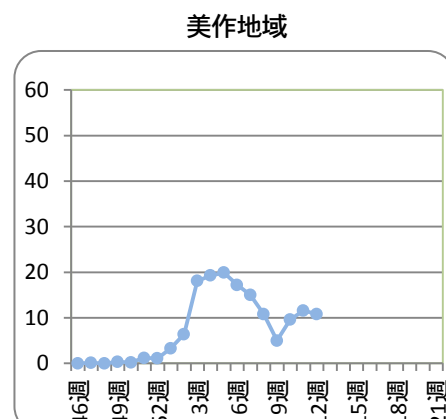
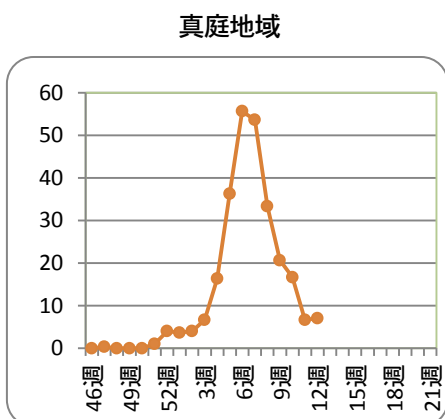
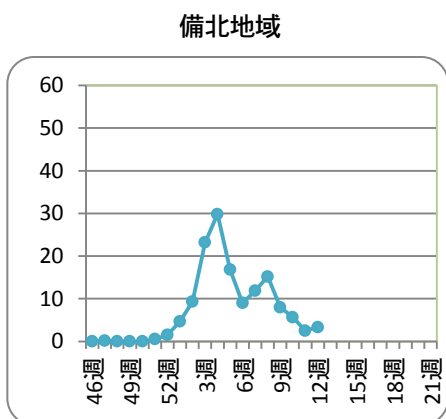
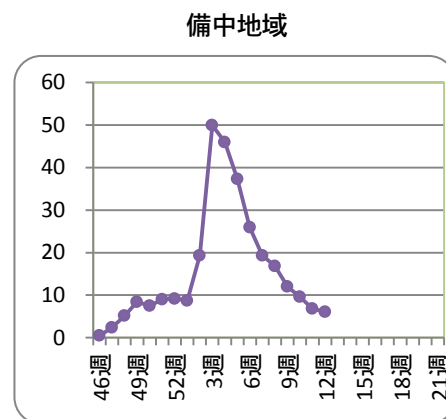
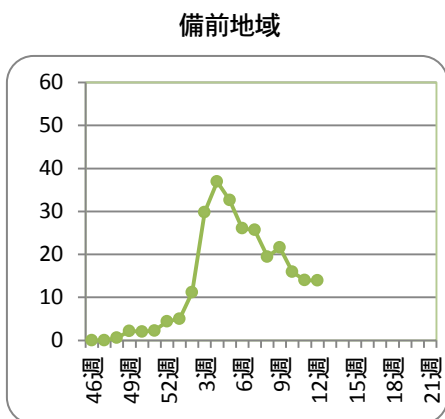
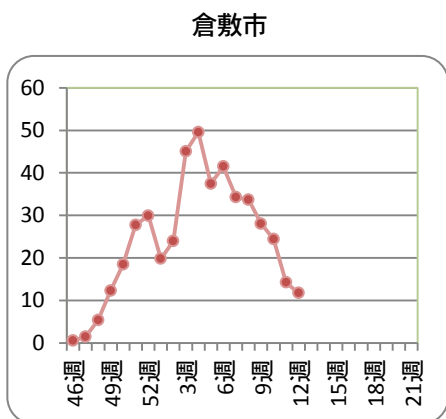
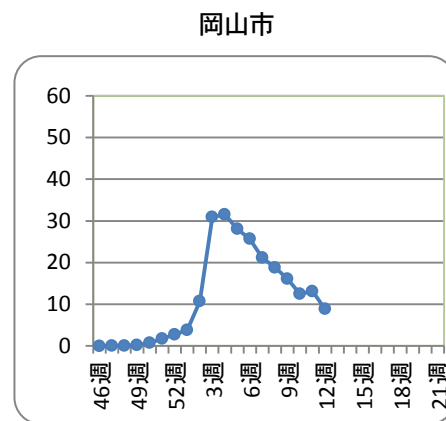
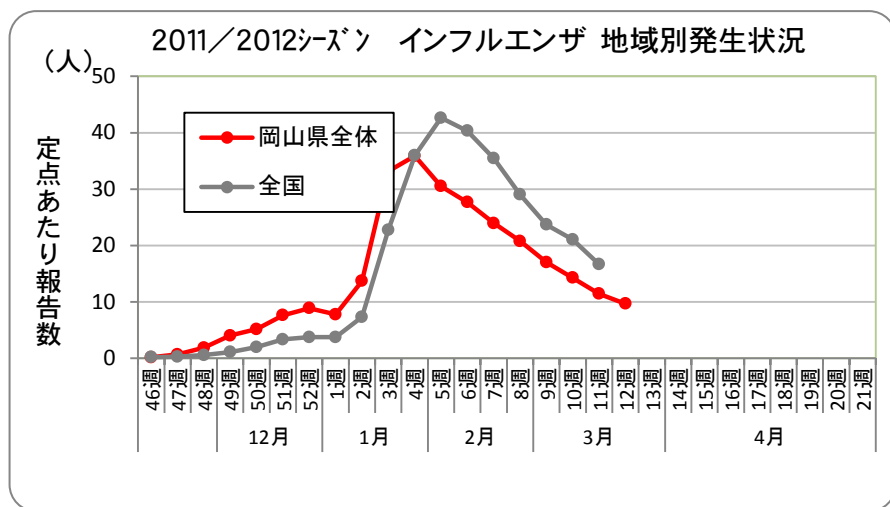
[○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）](#)

1. 地域別発生状況

第12週 (3/19~3/25) 前週からの推移 (単位:人)

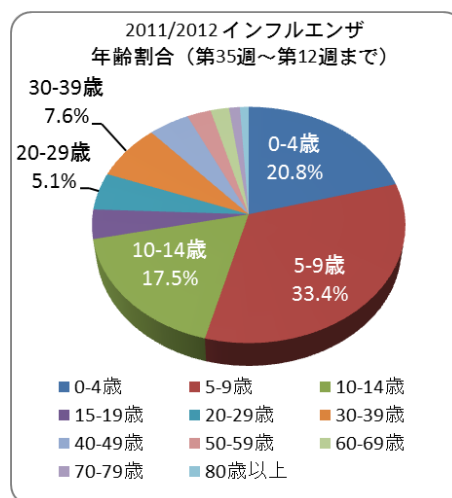
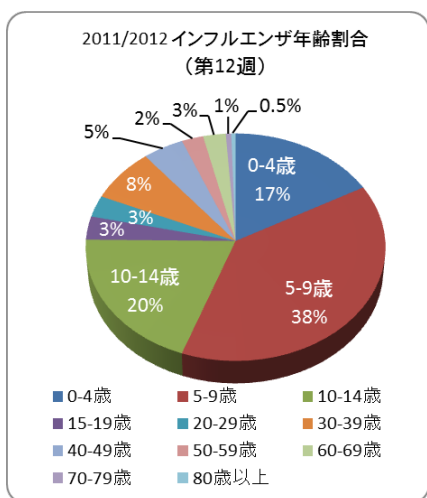
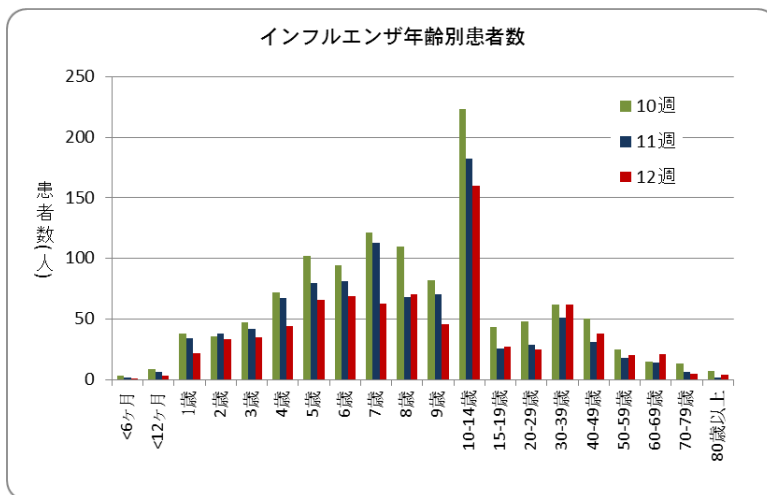
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	814	↓	備中	患者数	73	↓
	定点あたり	9.69			定点あたり	6.08	
岡山市	患者数	195	↓	備北	患者数	20	↑
	定点あたり	8.86			定点あたり	3.33	
倉敷市	患者数	188	↓	真庭	患者数	21	↑
	定点あたり	11.75			定点あたり	7.00	
備前	患者数	209	→	美作	患者数	108	→
	定点あたり	13.96			定点あたり	10.80	

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↑ 1.1~2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加



2. 年齢別患者発生状況 第12週（3/19～3/25）

第11週、患者の年齢割合は5-9歳が全体の38%で最も多く、10-14歳が20%、0-4歳が17%の順でした。患者は幼稚園児、小学生に該当する年齢層が多くを占めています。



➤ インフルエンザウイルス検出状況 第12週（3/19～3/25）

第12週、散発事例からB型（ビクトリア系統）4株、B型（山形系統）1株が検出されました。

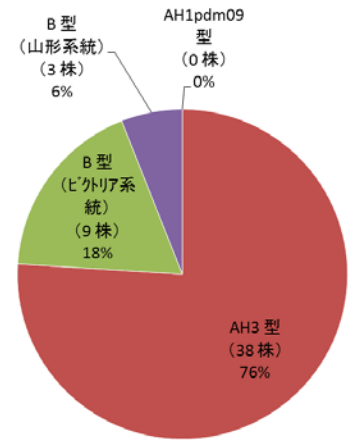
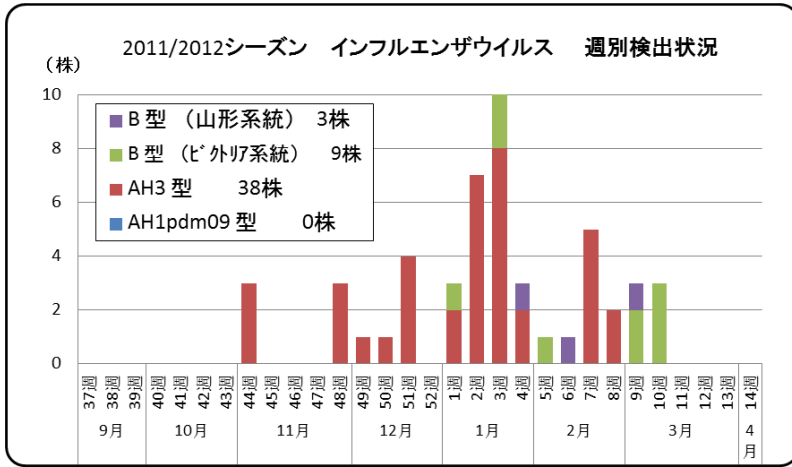
今シーズン県内では、AH3型が38株、B型（ビクトリア系統）が9株、B型（山形系統）が3株検出されており、現在はB型が主流になっています。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型の割合が最も多く82.7%、B型が17.1%、AH1 pdm09型が0.2%の順になっています。AH3型が主流でしたが、B型の検出が増加しています。

[\(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012シーズン\)](#)

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス B 型	第6週	2012年2月10日	新見市	40代	女	山形系統
インフルエンザウイルス B 型	第9週	2012年3月1日	岡山市	中学生	男	ビクトリア系統
インフルエンザウイルス B 型	第10週	2012年3月6日	玉野市	小学生	男	ビクトリア系統
インフルエンザウイルス B 型	第10週	2012年3月6日	玉野市	小学生	男	ビクトリア系統
インフルエンザウイルス B 型	第10週	2012年3月6日	玉野市	小学生	男	ビクトリア系統

2011/2012シーズン 岡山県インフルエンザウイルス
型別検出割合 (n = 50)



➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 12週 (3/19~3/25)

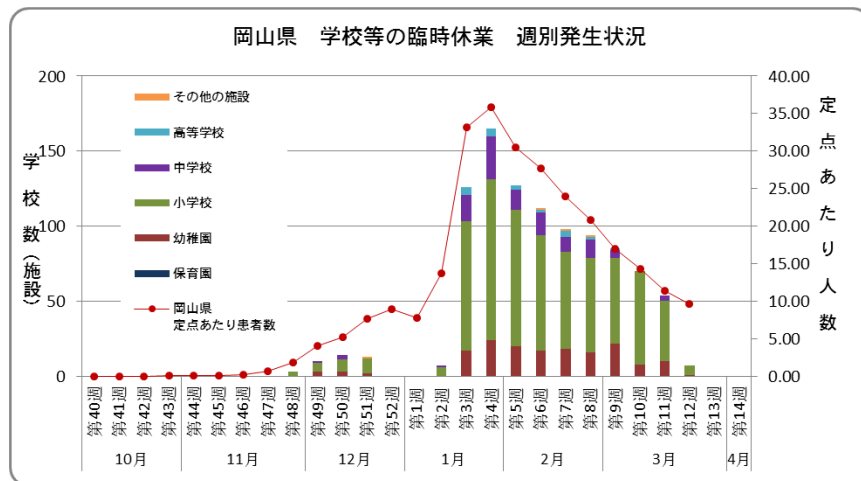
学校等の臨時休業が県内全域の7施設でありました。

措置別：休園・休校 1施設、学年閉鎖 4施設、学級閉鎖 2施設

施設別：保育園0施設、幼稚園 1施設、小学校 6施設、中学校 0施設、高等学校 0施設、その他 0施設
有症者数は101名、うち欠席者数76名でした。

第12週までの合計は、有症者数15,427名、うち欠席者数11,298名、施設数はのべ986施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業 \(健康推進課ホームページ\)](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

【第12週】

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	101	15,427	76	11,298	7	986	1	40	4	283	2	663	H23.10.31
岡山市	0	6,582	0	4,595	0	385	0	4	0	66	0	315	H23.12.15
倉敷市	45	3,684	29	2,756	3	219	0	7	1	39	2	173	H23.10.31
備前地域	26	1,945	22	1,571	2	146	1	6	1	67	0	73	H23.12.5
備中地域	0	1,401	0	1,175	0	115	0	10	0	46	0	59	H23.11.30
備北地域	0	313	0	227	0	29	0	3	0	12	0	14	H24.1.16
真庭地域	0	537	0	341	0	33	0	7	0	22	0	4	H24.1.13
美作地域	30	965	25	633	2	59	0	3	2	31	0	25	H24.1.16

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2. 臨時休業施設数の内訳 第12週 (3/19~3/25)

倉敷市：幼稚園 1、小学校 2

備前地域：小学校 2

美作地域：小学校 2

岡山市、備中地域、備北地域、真庭地域：なし

第12週：7施設

累計：986施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	1	161	6	688	—	111	—	22	—	4

➤ 入院時の状況と年齢別内訳 第12週 (3/19~3/25) (県内基幹定点 5医療機関による報告)

第12週、インフルエンザによる入院患者1名(乳児1名)が報告されました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。

乳幼児ではまれに脳症を起こすことがあります。水分をとったあとすぐに吐いてしまい元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときはすぐに医療機関に相談しましょう。

【第12週 入院患者数】

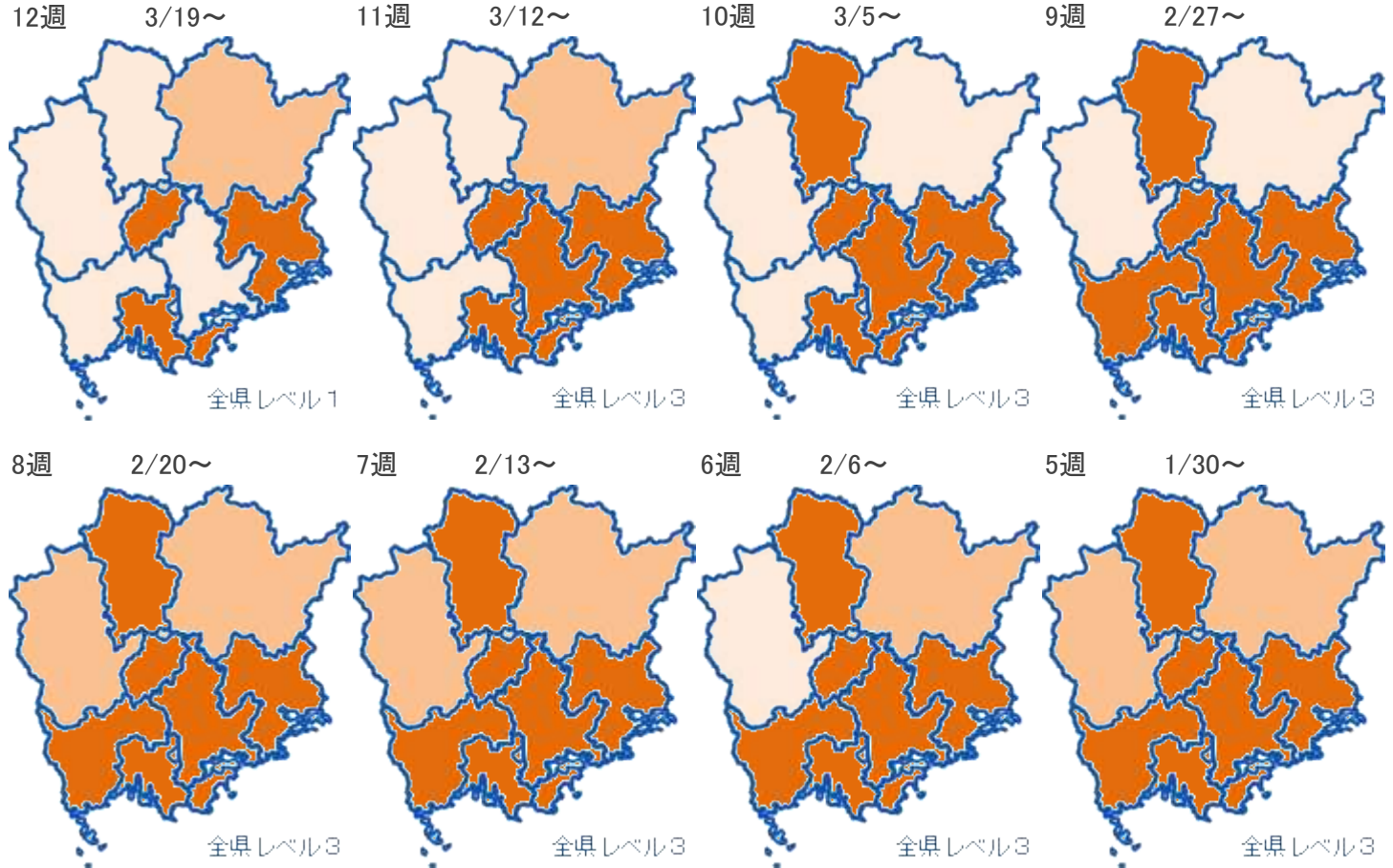
年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1												1
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)	1												1
頭部MRI検査(予定含)	1												1
脳波検査(予定含)	1												1
いずれにも該当せず													

*重複あり

【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	10	21	13	3	1	1	2	1		5	13	21	91
ICU入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部CT検査(予定含)	1	7	4	1	1						4	2	20
頭部MRI検査(予定含)	1	3									3	1	8
脳波検査(予定含)	1	6	1								3	1	12
いずれにも該当せず	9	12	9	2		1	2	1		4	7	19	66

重複あり



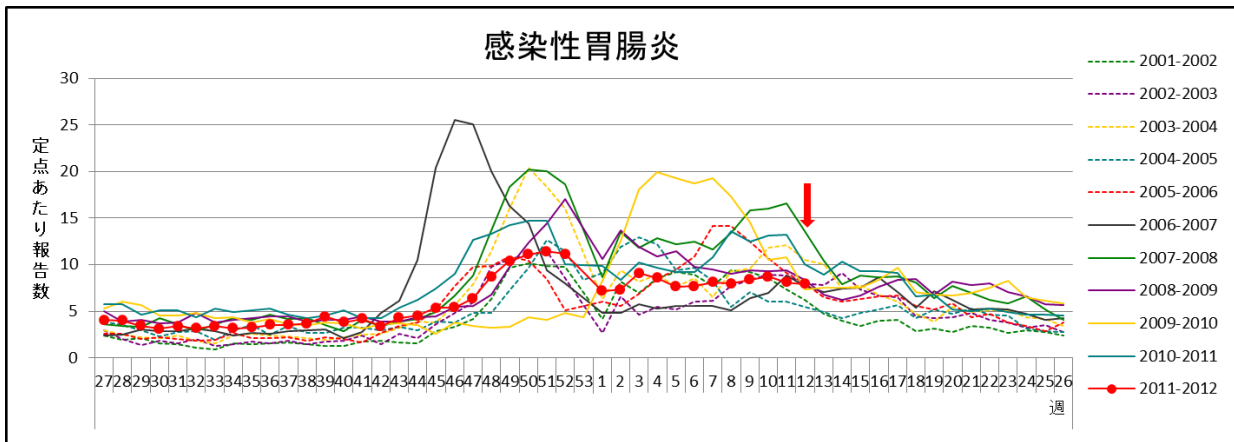
インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

感染性胃腸炎情報 第 12 週 2012 年 3 月 19 日～3 月 25 日

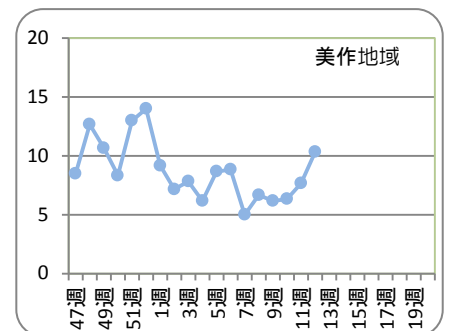
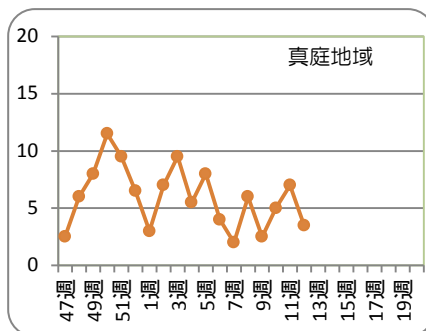
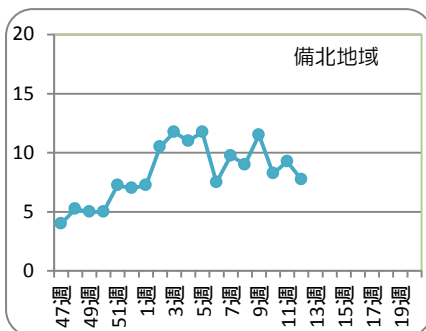
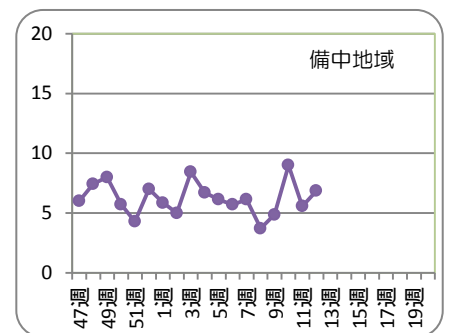
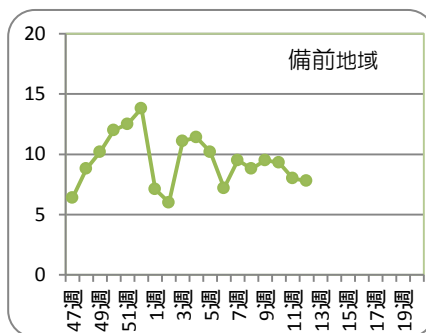
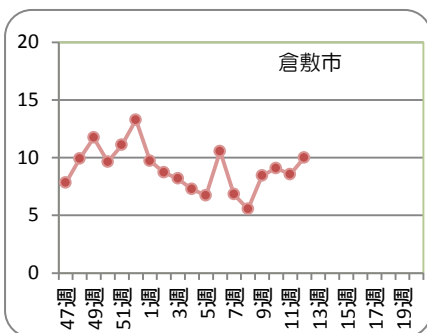
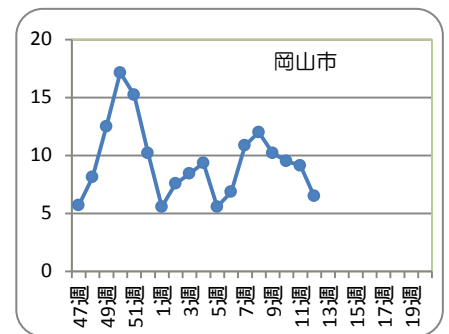
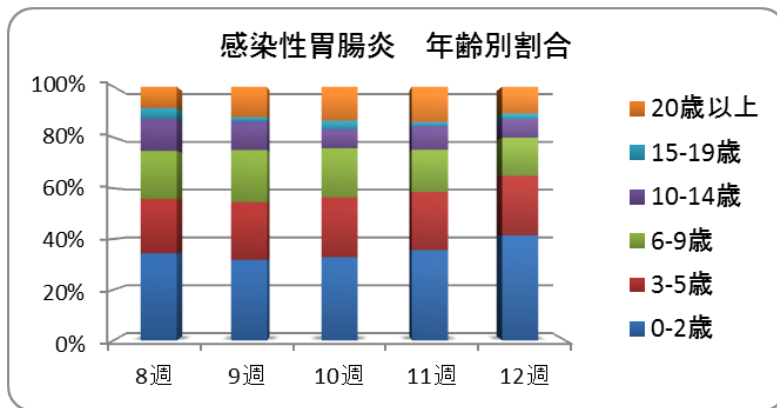
○岡山県内の患者報告数は 427 名（ 定点あたり 7.91 人 ）で、前週とほぼ同数でした。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした（ 54 定点医療機関 定点あたり 8.11 → 7.91 人 ）。倉敷市（ 10.00 人 ）、美作地域（ 10.33 人 ）で患者が多くなりました。患者の年齢分布は 0-5 歳の低年齢層が約半数を占めており、中でも 0-2 歳の乳幼児の割合が増加しています。

例年、2 月から 4 月上旬にかけて、**ロタウイルスによる感染性胃腸炎**が増加します。ロタウイルスは 0-2 歳の乳幼児に患者が多く、ノロウイルスよりも重症度が高いと言われています。手洗いを励行するなど感染予防に努めましょう。



保健所別報告患者数 2012年 12週 (2012/03/19～2012/03/25)

2012年3月28日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	814	9.69	195	8.86	188	11.75	209	13.93	73	6.08	20	3.33	21	7.00	108	10.80
RSウイルス感染症	3	0.06	2	0.14	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	8	0.15	1	0.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	0.80	5	0.36	16	1.45	-	-	5	0.71	1	0.25	-	-	16	2.67
感染性胃腸炎	427	7.91	91	6.50	110	10.00	78	7.80	48	6.86	31	7.75	7	3.50	62	10.33
水痘	61	1.13	12	0.86	35	3.18	6	0.60	5	0.71	-	-	-	-	3	0.50
手足口病	14	0.26	10	0.71	2	0.18	2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	13	0.24	3	0.21	5	0.45	3	0.30	-	-	-	-	-	-	2	0.33
突発性発疹	17	0.31	8	0.57	3	0.27	1	0.10	3	0.43	1	0.25	-	-	1	0.17
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	23	0.43	6	0.43	9	0.82	4	0.40	4	0.57	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	5	1.00	4	4.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 12週 (2012/03/19~2012/03/25)

2012年3月28日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	814	9.69	195	8.86	188	11.75	209	13.93	73	6.08	20	3.33	21	7.00	108	10.80
咽頭結膜熱	8	0.15	1	0.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	0.80	5	0.36	16	1.45	-	-	5	0.71	1	0.25	-	-	16	2.67
感染性胃腸炎	427	7.91	91	6.50	110	10.00	78	7.80	48	6.86	31	7.75	7	3.50	62	10.33
水痘	61	1.13	12	0.86	35	3.18	6	0.60	5	0.71	-	-	-	-	3	0.50
手足口病	14	0.26	10	0.71	2	0.18	2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	13	0.24	3	0.21	5	0.45	3	0.30	-	-	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	23	0.43	6	0.43	9	0.82	4	0.40	4	0.57	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第12週 2012/03/19~2012/03/25)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	814	1	3	22	33	35	44	66	69	63	70	46	160	27	25	62	38	20	21	5	4

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	3	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	8	-	2	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	-	1	-	2	3	4	9	5	6	5	3	4	-	1
感染性胃腸炎	427	6	39	84	48	34	39	27	29	13	17	5	31	10	45
水痘	61	-	5	15	12	10	6	7	4	-	1	-	1	-	-
手足口病	14	-	-	3	5	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	13	-	-	2	1	3	2	2	-	1	-	-	1	-	1
突発性発疹	17	1	6	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	23	-	-	1	3	3	3	3	2	3	5	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	5	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

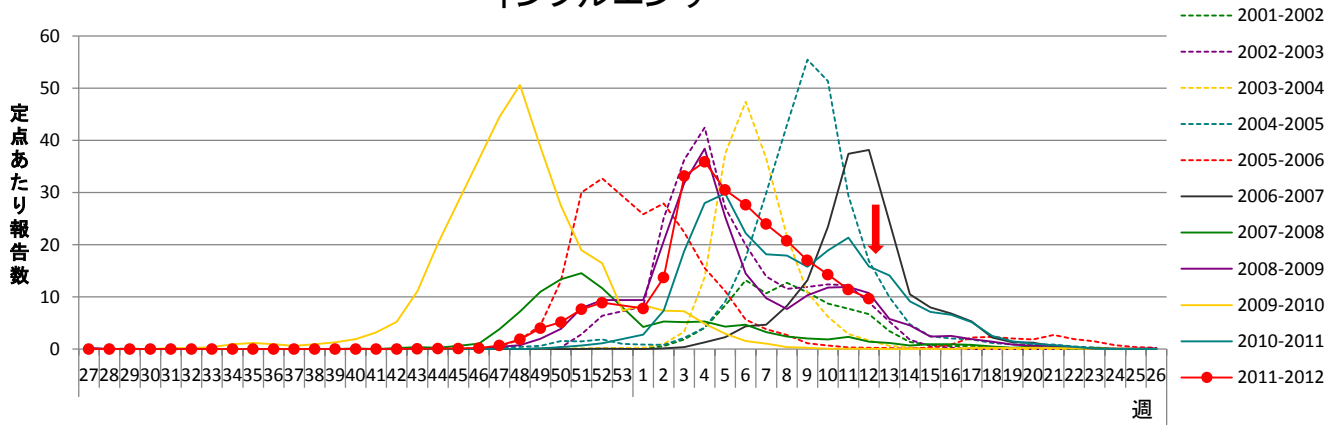
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

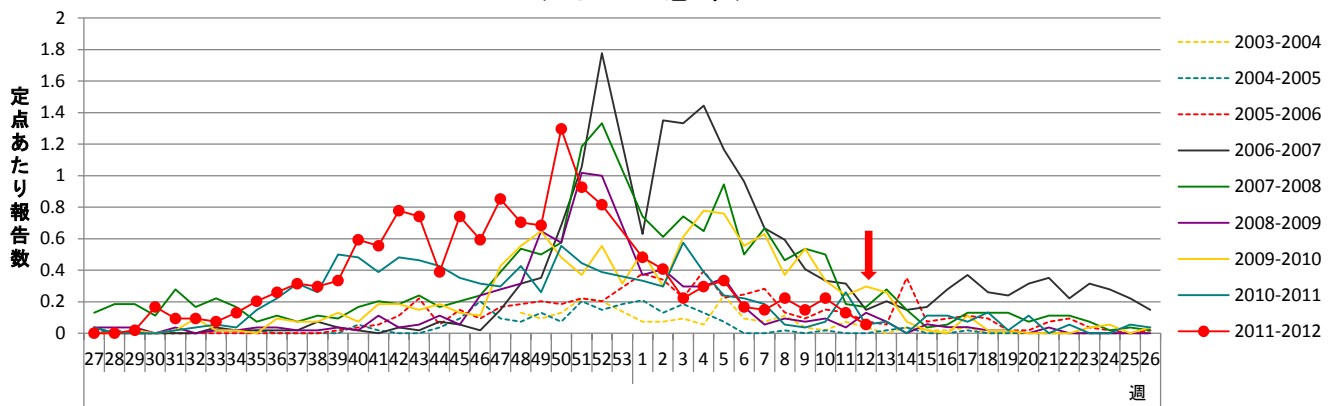
2012年 12週

分類	疾病名	2012			疾病名	2012			疾病名	2012		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	1	67	557	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	3	67
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	4	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	4	11	ウイルス性肝炎*3	-	1	9	急性脳炎*4	-	-	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	4	15	ジアルジア症	-	-	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	1	9	破傷風	-	-	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	風しん	-	-	1
	麻しん	-	5	4		-	-	-		-	-	-

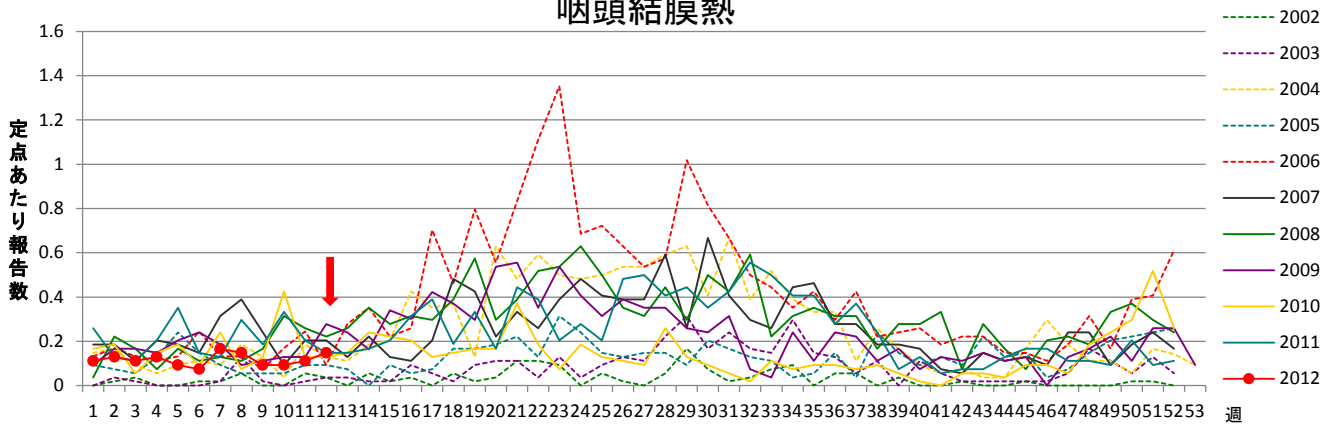
インフルエンザ



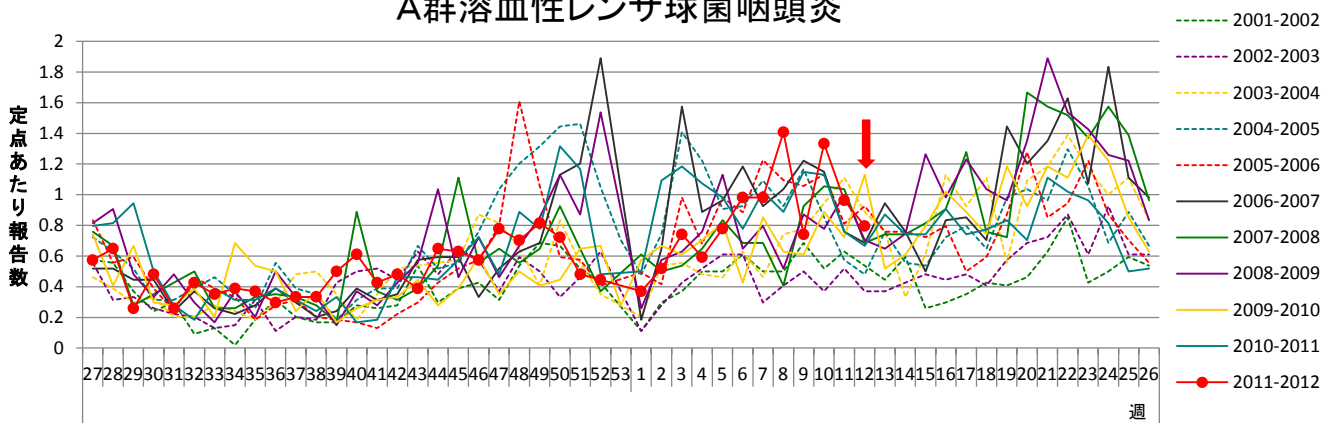
RSウイルス感染症



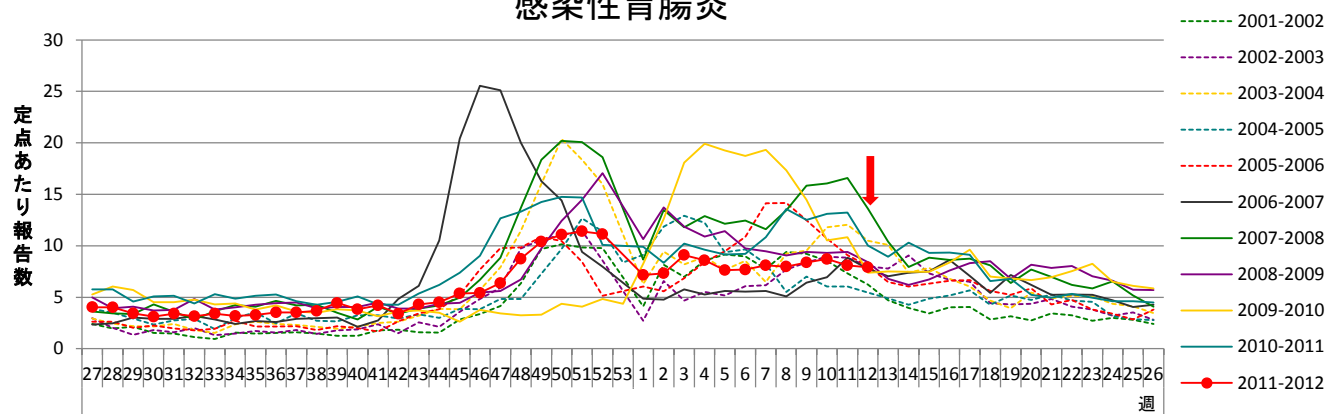
咽頭結膜熱



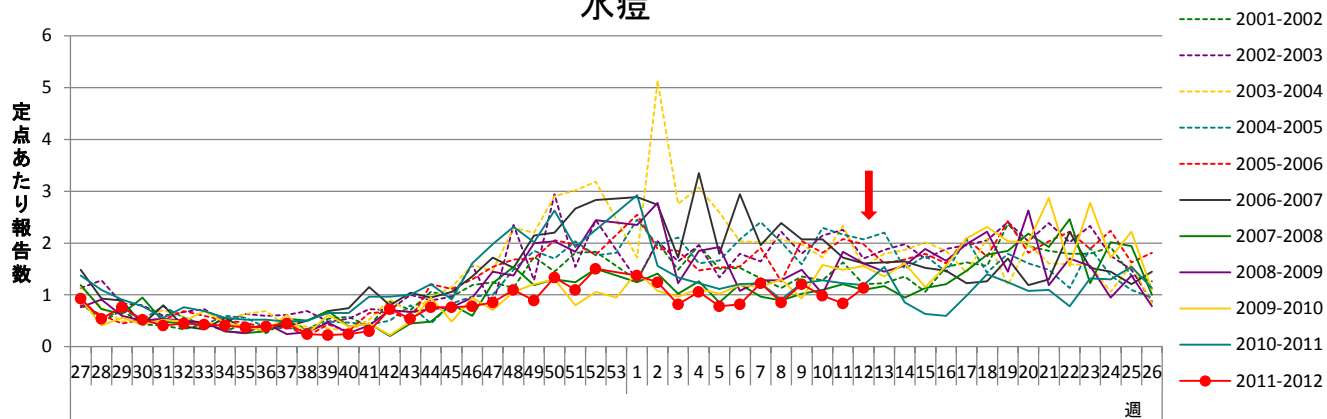
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



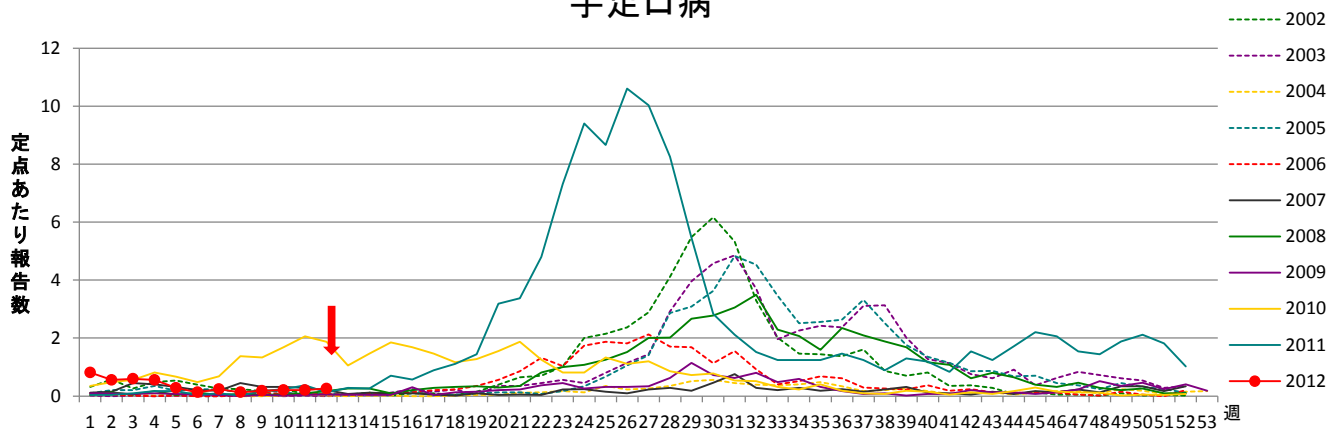
感染性胃腸炎



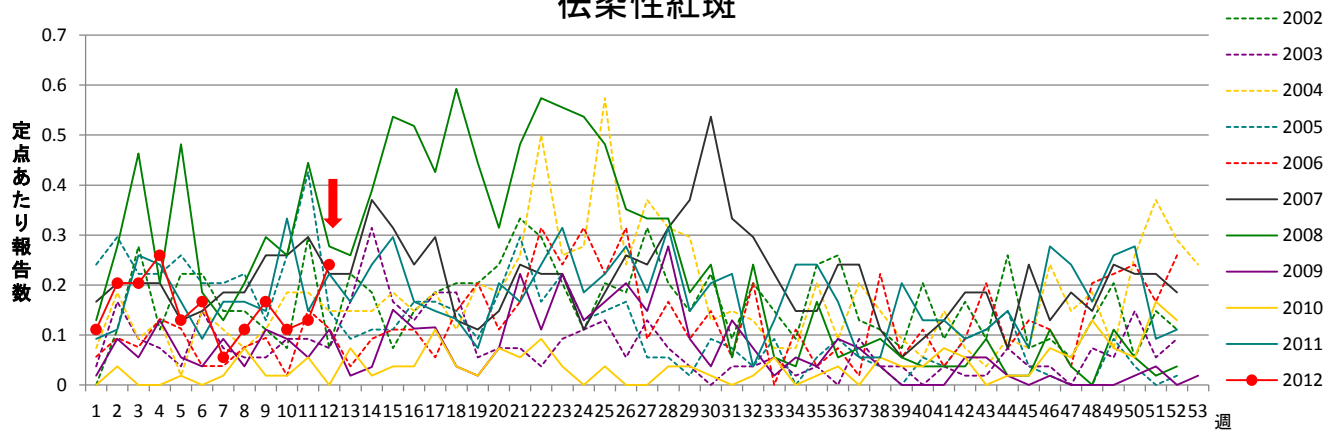
水痘



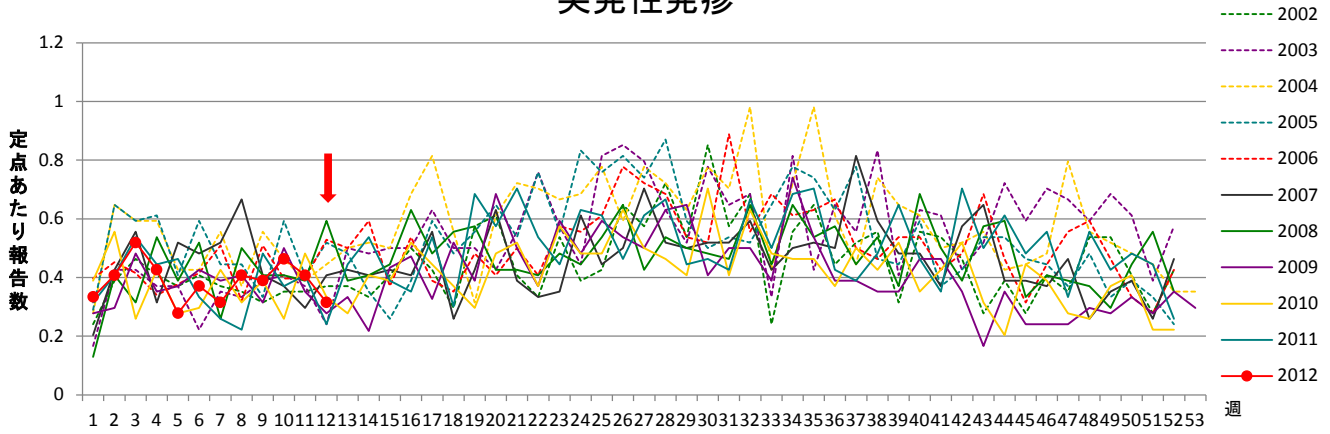
手足口病



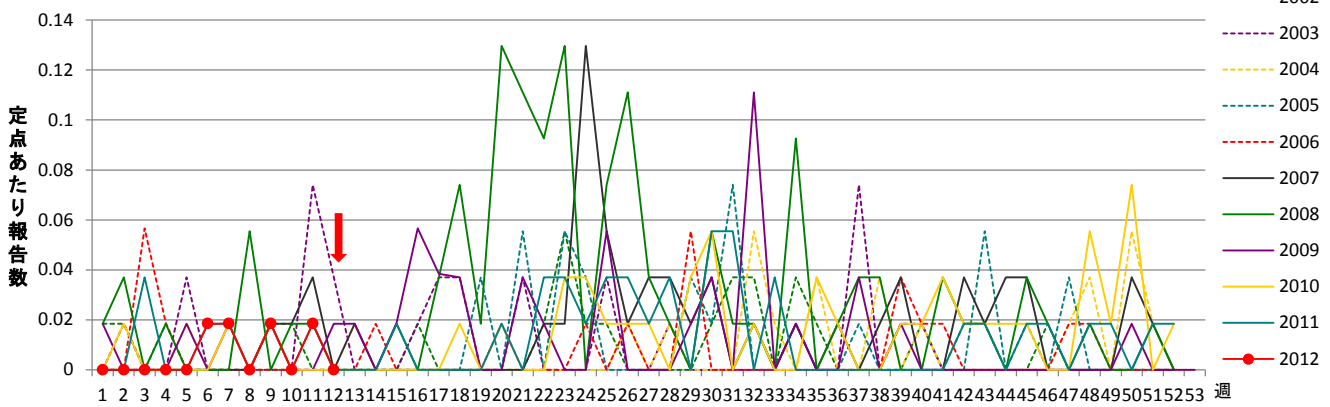
伝染性紅斑



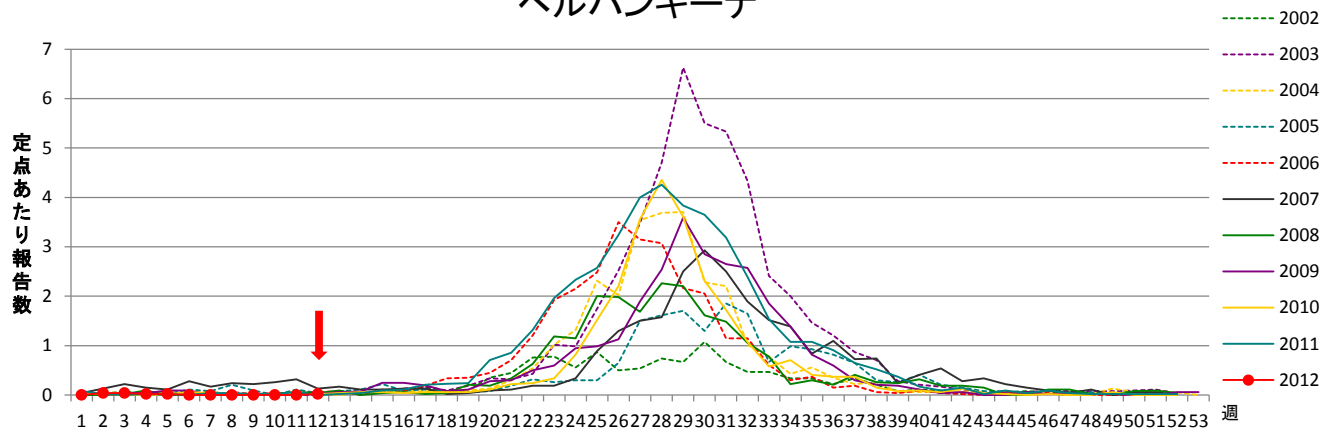
突発性発疹



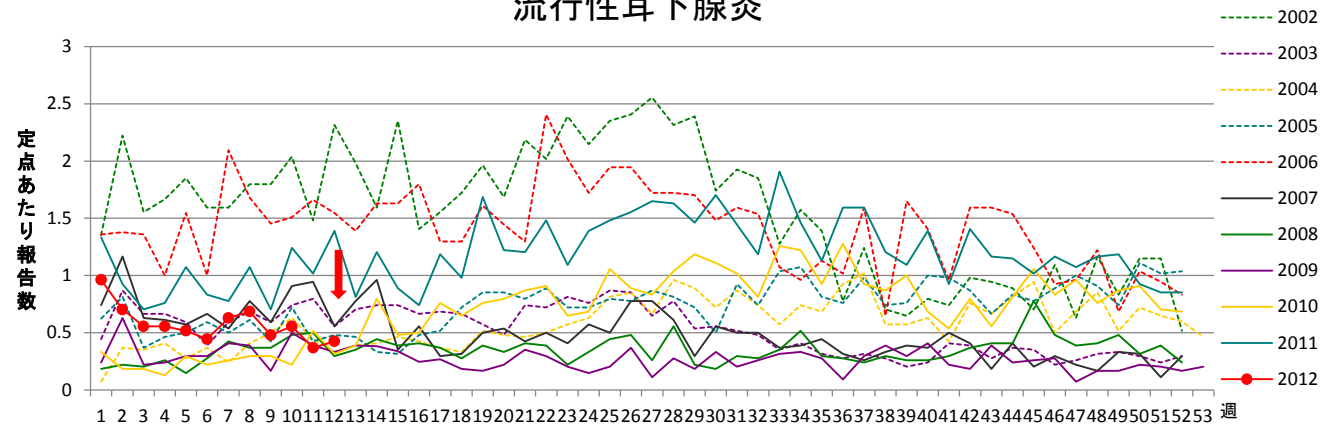
百日咳



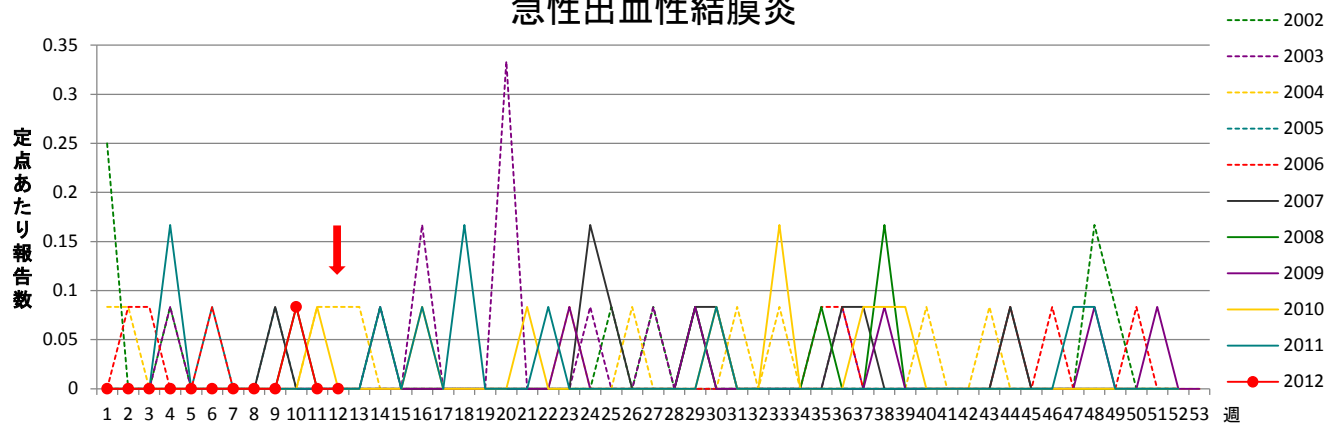
ヘルパンギーナ



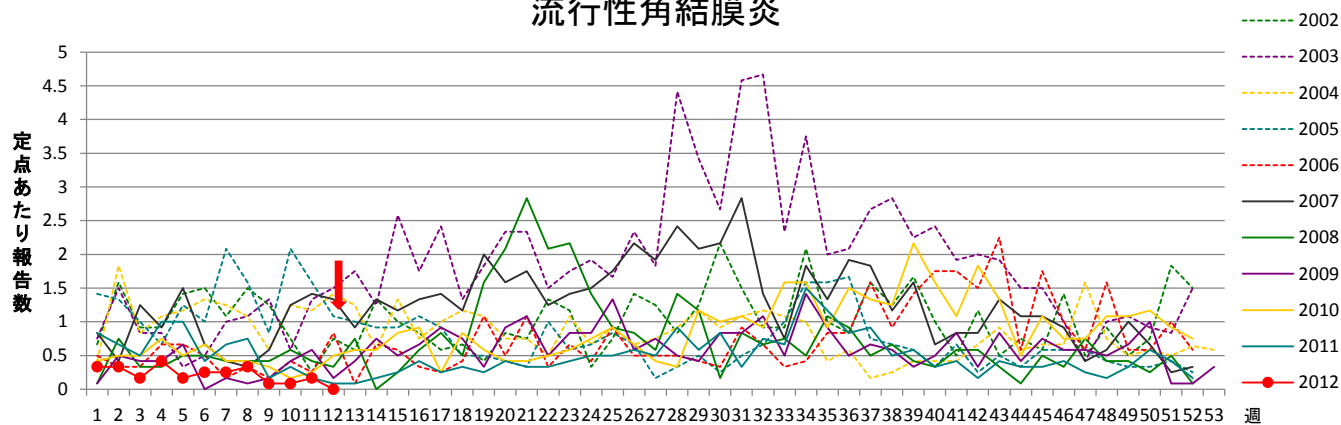
流行性耳下腺炎



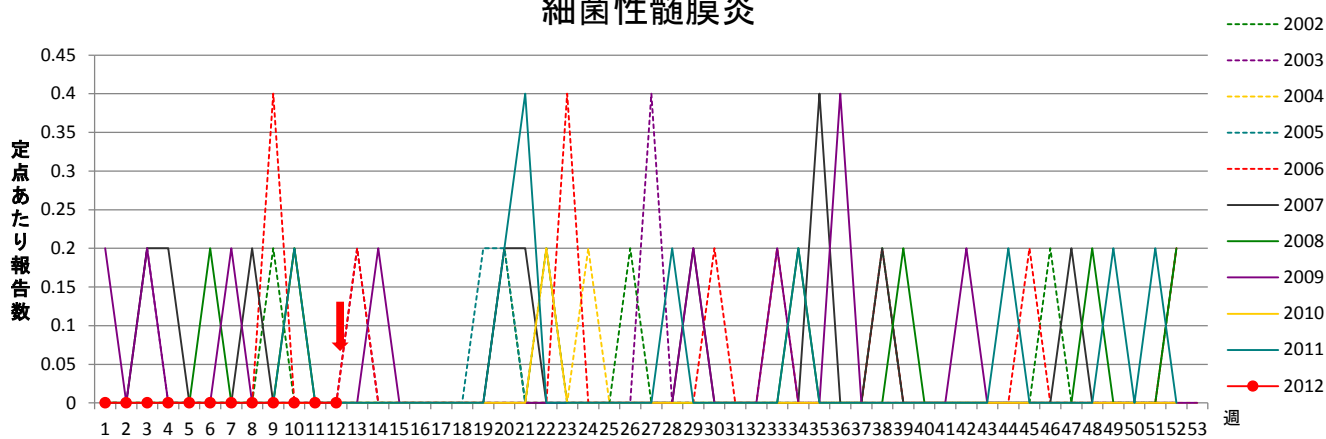
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎

